

2026年度学習支援計画書（シラバス）

科目名			担当講師	
服飾造形理論			石山 玲子	
授業科目区分	授業形態	学科名	学年	時間数
必修	講義	ファッションクリエイト科	1	3単位（45時間）
担当講師の経歴又は実務経験				
服飾専門学校卒業後、アパレル企業にてファッションデザイナー、パタンナーとして勤務。 その後、ファッションデザイン画、服飾造形などの指導を受け持つ。				
授業概要				
被服に関する総合的な知識と製作技法を修得し、さらに創造力と美的感性の開発を目指す				
学習到達目標				
衣服製作の基礎を学び、基本形からの展開を応用した作品を製作の理論を身に着ける				
テキスト及び教材				
文化ファッション大系 各服飾造形講座				
授業内容				
回	テーマ	内 容		
1	衣服について			
2	服飾造形とは			
3	西洋衣服の変遷			
4	アイテム別分類			
5	着用目的による分類			
6	フォーマルウェアの格式による分類			
7	注文服（個別製作）のプロセス			
8	既製服（大量生産）のプロセス			
9	デザイン決定の手順			
10	採寸用具・作図用具・印つけ用具			
11	裁断用具・縫製用具・プレス用具			
12	人台・その他			
13	まとめ			
成績評価の方法及び基準				
衣服製作におけるデザイン、作図、縫製の基礎的な知識の習得度合い				
評価		成績評価の到達度		
A	優れている	理解、知識、表現にすぐれている		
B	普通	一定の理解、知識があり、表現ができる		
C	やや劣る	ある程度の理解、知識があり、表現ができる		
D	劣る	理解、知識、表現がやや不足している		
E	不合格	理解、知識、表現が不足している		